

父親の跡を継ぎ、電力機器会社の社長に就任していた私が、伯父の経営する化学機械メーカーを引き取ったのは44歳のとき。赤字会社だったので、雇用を確保するためにも事業を再生させなければなりませんでしたが、そのとき着目したのが同社の扱っていた樹脂素材です。「この技術を応用した、新しいマットレスがつかれるのではないかとひらめきました。

寝具業界では当時、体が沈み込むような感覚の低反発マットレスの市場がすでにでき始めていました。私自身、交通事故に巻き込まれて怪我をした経験があり、眠りに敏感だったこともあり、低反発商品の使用感には疑問を持っていました。寝起き感がよくないというか、疲れが残ってしまうんですね。通気性もよくないし、洗うこともできません。それに比べ、自分たちで開発した復元性の高い高反発のマットレスだと、寝返りがラクに打てることから快適に眠ることができ、寝起き感にも優れていました。エアの名前の通り、通気性に富んでいるだけでなく、丸洗いできるという利点もありました。高機能寝具の市場はすでにできつつあったので、自分たちの高反発マットレスなら、いままで低反発のものしか選ばなかったユーザーを取り込むことができると確信したのです。

試行錯誤を繰り返し、2年ほどかけて製品を完成させましたが、実は、当初はまったく売れませんでした。広告費をかけても、費用対効果は上がりませんでした。そんなとき、広告制作会社を経営する友人から「ブランドをつくるのは、広告ではなく実績なんだよ」とアドバイスされ、眠りにこだわる人たちに使ってもらえるような製品開発と戦略に重きを置くことにしました。そこでまず、トップアスリートであるオリンピック選手にアプローチしたのです。4年に1度の大会に人生をかけている彼らにとって、コンディショニングにつながる眠りの質はプライスレス。たとえ高い契約金を出したとしても、使用感に優れ、本当に効果があるものでなければ、彼らは決して使ってくれません。だから、アスリートに「使わせる」のではなく、「進んで選んでもらえる」ような製品開発を目指すことこそが、市場に対しても一番強いメッセージになると考えたのです。

お陰さまで水泳の北島康介さん、フィギュ



airweave

## Motokuni Takaoka

株式会社エアウィーヴ  
代表取締役社長 高岡本州

TOP  
INTERVIEWphoto by  
Takao Ohtatext by  
Kiyoshi Shimizu  
(lefthands)

### サステナブルな企業であるために、 グローバルな展開を目指す。

浅田真央や坂東玉三郎など、世界のトップアスリートやフォーマーたちからの支持を得て、飛躍的に売り上げを伸ばしているエアウィーヴ。「ブランドを築くのは広告ではなく実績である」という高岡本州社長が、生活インフラ企業としての自負と展望を語る。

アスケートの浅田真央さんをはじめ、多くのオリンピック選手が選んでくださったことをきっかけに、エアウィーヴの認知度が高まり、いまでは市場のトップの座に就くことができました。

現在は、海外への展開も積極的に行っています。いまは我々独自の技術でも、数年たてば真似られてしまうだろうし、海外から類似品が進出してくる可能性だってあるわけです。その前に、自ら打って出てグローバルなポジションを確立しておかなければいけないし、成功すればサステナブルな事業になります。事業の急速な拡大ではなく、若い社員たちが将来も安心して働ける企業であるためにも、攻めの持続性が重要です。エアウィーヴを日本発のグローバルブランドに育てていくことこそが、持続性につながると考えています。

そして、海外展開でパートナーを選ぶときには、「Do business」ではなく「Let's go together」という信頼関係を何よりも重要視

しています。これもまた、事業の持続性には欠かせないことですから。

父親から引き継いだのは社会インフラの企業ですが、エアウィーヴは生活インフラの企業です。どちらもインフラ企業である以上、技術の裏付けが必要ですし、誠実な経営を求められます。一方で、エアウィーヴの場合は特に経営判断のスピード感も大切です。海外出張も多く、ラクではありませんが、海外での事業展開に夢を抱いている社員も多いので、彼らの情熱を大切にしたいですね。📌

#### 高岡本州

1960年、名古屋生まれ。名古屋大学工学部、慶應義塾大学大学院で経営学を学んだ後、スタンフォード大学大学院留学。父親の経営する日本高圧電気に入社し、37歳で社長に就任。2004年、親族が経営する赤字会社を引き受け、エアウィーヴとして再出発させた。2013年よりエアウィーヴはJOCオフィシャルパートナー（マットレスパッド・ピロー・クッション）。

www.airweave.jp